資料7

水循環に関する国際的な取組

内閣官房　水循環政策本部事務局
令和４年９月

水循環ロゴマーク

The Secretariat of the Headquarters for Water Cycle Policy

第9回世界水フォーラム（セネガル・ダカール）の概要

- 期間：2022年3月21日（月）～3月26日（土）
- 主催：世界水会議、セネガル共和国政府、ダカール市
- テーマ：平和と発展のための水の安全保障（Water Security for Peace and Development）
- ４つの優先課題（水の安全保障と衛生、農村開発、協力、手段とツール）の下、約90のテーマ別セッション、27のハイレベルパネル、52の特別セッションが開催。
- 開会式では天皇陛下のビデオメッセージが放映。閉会式では「ダカール宣言」が採択。
- ５ヶ国の大統領、１ヶ国の副大統領、世界銀行総裁等が参加。

【開会式における天皇陛下のおことば】

【日本の取組】

- 国際展示会への日本ブースの出展（省庁・企業等が参加）。
- 国土交通省はハイレベルパネル（New perspectives on droughts in a time of climate change）に参加し、渇水や気候変動に関する日本の取組について紹介。また、テーマ別セッションにビデオで参加し、激甚化する水関連災害に対する日本の取組等について発表。
- 沖東京大学教授はテーマ別セッションに参加し、水インフラの効果を考慮した水資源リスク評価の取組について発表。

開会式の様子

国土交通省水資源部審議官の発表

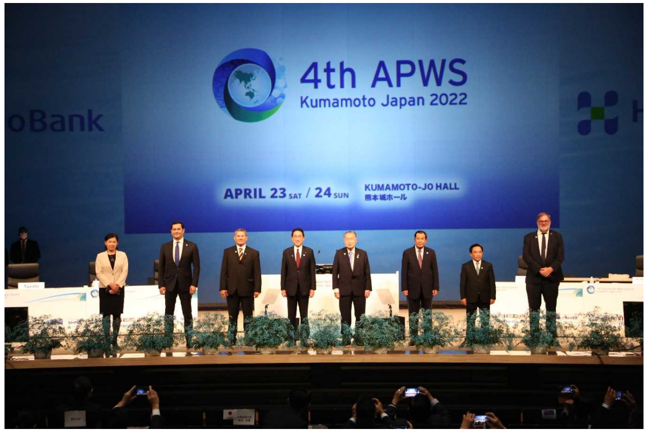
沖東京大学教授の発表

国際展示会の日本ブース

第4回アジア・太平洋水サミットの結果概要

開催概要

■会　期：2022年4月23日（土）、24日（日）
■開催地：熊本県熊本市
■主　催：アジア・太平洋水フォーラム及び熊本市
※政府は閣議了解に基づき必要な協力を行う。
■テーマ：持続可能な発展のための水～実践と継承～



首脳級会合冒頭の様子

サミットの概要

◆本サミットは、**アジア太平洋地域30カ国※1の首脳級・閣僚級**の方々のほか、国内外からオンラインも含めて**約5，500人※2が参加**し、水に関する諸問題の解決に向けた議論がなされた。

※1 首脳級会合・ハイレベルステートメントの参加国数（日本含む）
※2 プログラム参加延べ人数（速報値）

◆<開会式>では**天皇陛下よりおことばと記念講演**を賜り、その後に行われた<首脳級会合>では、**岸田総理より「熊本水イニシアティブ」**が発表され、参加国首脳級の決意表明である**「熊本宣言」**が採択された。

◆また、熊本宣言における首脳級からの問いかけに対し、具体的なアクションを議論する9つの<分科会>、4つの<統合セッション>、2つの<特別セッション>が実施され、<閉会式>において、その問いかけに対する回答を総括した**「議長サマリー」**が発表された。

分科会

1 『水と災害/気候変動』
2 『水供給』
3 『水源から海までの水と環境』
4 『水と貧困/ジェンダー』
5 『水と衛生/汚水管理』
6 『ユースによるリーダーシップ、イノベーション』
7 『水と食料』
8 『水と文化と平和』
9 『地下水を含む健全な水循環』

統合セッション

『総括』
『科学技術』
『ガバナンス』
『ファイナンス』

特別セッション

『ショーケース』
『島嶼国』

第4回アジア・太平洋水サミット　成果の展開

第４回アジア・太平洋水サミットにおける成果

熊本宣言

サミットでの議論を水に関係する
グローバルな議論プロセスにて報告し、
この宣言が反映・活用されるよう働きかけを行う

議長サマリー

我々の提言は、
関連する主要な国際プロセスにおいて
共有されるべきである

熊本水イニシアティブ

水問題/仙台防災枠組/SDGs関連会議

2022年６月
第２回 水の国際行動の10年 ハイレベル会合（@タジキスタン）

2023年３月
国連水会議 水の国際行動の10年 中間レビュー（@国連本部）

2023年５月
仙台防災枠組 中間レビュー（@ニューヨーク）

2023年9月
SDGサミット(@国連本部）

等

4th Asia-Pacific Water Summit
Kumamoto Japan 2022

第４回アジア・太平洋水サミット（APWS） － 熊本宣言

2022年4月23日、第4回APWSにてアジア・太平洋地域の18か国 の政府首脳に(HSG)よる
水問題の解決と質の高い社会への変革に向けた共同決意声明・宣言

- 水の重要性と意義を再認識する。
- 水分野におけるハード・ソフトを統合した質の高いインフラ整備を強化する。
- 健全な水循環を取り戻すことにより、災害に備え、多角的なSDGｓを達成し、国際河川での協力を強化する。

取り組みの加速に向けて

ガバナンスを整える
・水に関わる多くの機関・市民社会が分野と世代を超えて連携を行う。
・各流域の協力体制を強化し、水問題を解決し、繁栄を分かち合ってきた良き事例を共有する。

資金ギャップを埋める
・成長に貢献するため、水投資を増やす。
・各流域において投資を動員する。

科学技術へ要望する
・地域の自然環境、地理的特性や歴史的経過を尊重し、発展段階に応じた水問題解決のため、科学技術の提供を望む。
・次世代の水の専門家への教育や能力強化を行う。

····➤ 日本政府より発表された熊本水イニシアティブを評価し、支持する。

第4回 APWS テーマ
持続可能な発展のための水　～ 実践と継承～

資料）アジア・太平洋水フォーラム

4th Asia-Pacific Water Summit
Kumamoto Japan 2022

第４回アジア・太平洋水サミット（APWS） － 議長サマリー

この議長サマリーはアジア太平洋地域の質の高い成長に向けた明確な道筋を示し、熊本宣言の一部をなす。 また、アジア太平洋地域の各国首脳が 熊本宣言中の問いに応えるために行われた発表と意見交換の成果をまとめており、9つのテーマ別セッションと４つの統合セッションの成果の主要メッセージが含まれているものである。

1.持続可能な社会の構築に向けて： 水分野はSDG 6.1-6.6 や11.5.といったすべての水関連のSDGｓを達成する必要がある。

- **ガバナンス:**統合水資源管理に基づく流域全体の水管理を行い、健全な水循環を回復・維持するために，領域や異なるレベルのセクター間を超えて協働し、多様な気候、地理、社会経済的条件に合わせる。
- **ファイナンス:**水分野への総投資額を大幅に増やすため、水分野への投資による直接的・間接的な便益を定量化し、金融機関や納税者に納得してもらい、投資家を惹きつけるために分析手法を開発・標準化することが必要である。
- **科学技術:**測定できないものは改善できない。特に、越境情報共有は重要である。

2.強靭な社会を目指して：パンデミックや災害、気候変動など突発的もしくは緩やかな混乱の発言に対して、より強靭で適応性のあるコロナ後の社会を構築するために、水は重要な役割を果たすことができ、また果たすべきである。

科学技術： 観測、モデリング、データ統合に焦点を当てたオープンサイエンス政策を加速しながら、健全な水循環を促進し、エンドツーエンドのアプローチをとりながら領域や異なるレベルのセクター間を超えて協働する。

3.包摂的な社会に向けて：包摂的な社会は、SDGs達成のためだけでなく、社会経済成長のエンジンとして人間の多様な能力や才能をフル活用するためにも必要である。

- ジェンダー平等と社会的包摂をあらゆる機関や制度の中核的な目標とする。
- 技術、イノベーション、データの分野で若者が解決法を提供し専門性を発揮できるように後押しし、若者の有意義な参画（Meaningful Youth Engagement：MYE)を奨励、着手、支援し、あらゆるレベルで若者-政府間パートナーシップを強化する。

4. 国連２０２３年水会議とその後に向けて：

- 水、気候変動、防災は国際的なプロセス、特に国連２０２３年水会議において重要なテーマとして議論されるべきである。
- 熊本水イニシアティブがアジア・太平洋地域内外のコミットメントの輪を広げていくことを期待する。

資料）アジア・太平洋水フォーラム

【第４回アジア･太平洋水サミット】熊本水イニシアティブ（概要）

－「新しい資本主義」に基づく「質の高いインフラ」整備への積極的な貢献－

我が国は、アジア太平洋地域における水を巡る社会課題に対し、**官民協働**により、**デジタル化やイノベーション**を活用して、**社会課題の解決を成長エンジン**とし、持続可能な発展と強靱な社会経済の形成につなげていく**「新しい資本主義」**に基づき、我が国の先進技術を活用した**「質の高いインフラ」**整備等を通じて、積極的に貢献する。

1.気候変動適応策・緩和策両面での取組の推進

（1）「質の高いインフラ」の整備推進

・**ダム、下水道、農業用施設**等による、流域治水を通じた水害被害軽減（適応策）と、温室効果ガスの削減（緩和策）を両立できる**ハイブリッド技術**の開発・供与
（ダム：既存ダムの運用改善や改造により、早期に効果発現）

・官民協働による「質の高いインフラ」の導入提案

（2）観測データの補完への貢献

・気象衛星（ひまわり）、陸域観測技術衛星２号（だいち２号）、全球降水観測計画（GPM）主衛星等の**衛星データ**供与

（3）ガバナンス（制度・人材・能力）への貢献

・**AI/IoT等での予測･解析技術**等による**水害リスク評価**の高度化

・アジア太平洋気候変動適応情報プラットフォーム（AP-PLAT）やデータ統合･解析システム（DIAS）を通じた**人材育成等**への支援

（4）二国間クレジット制度（JCM）の活用・拡大

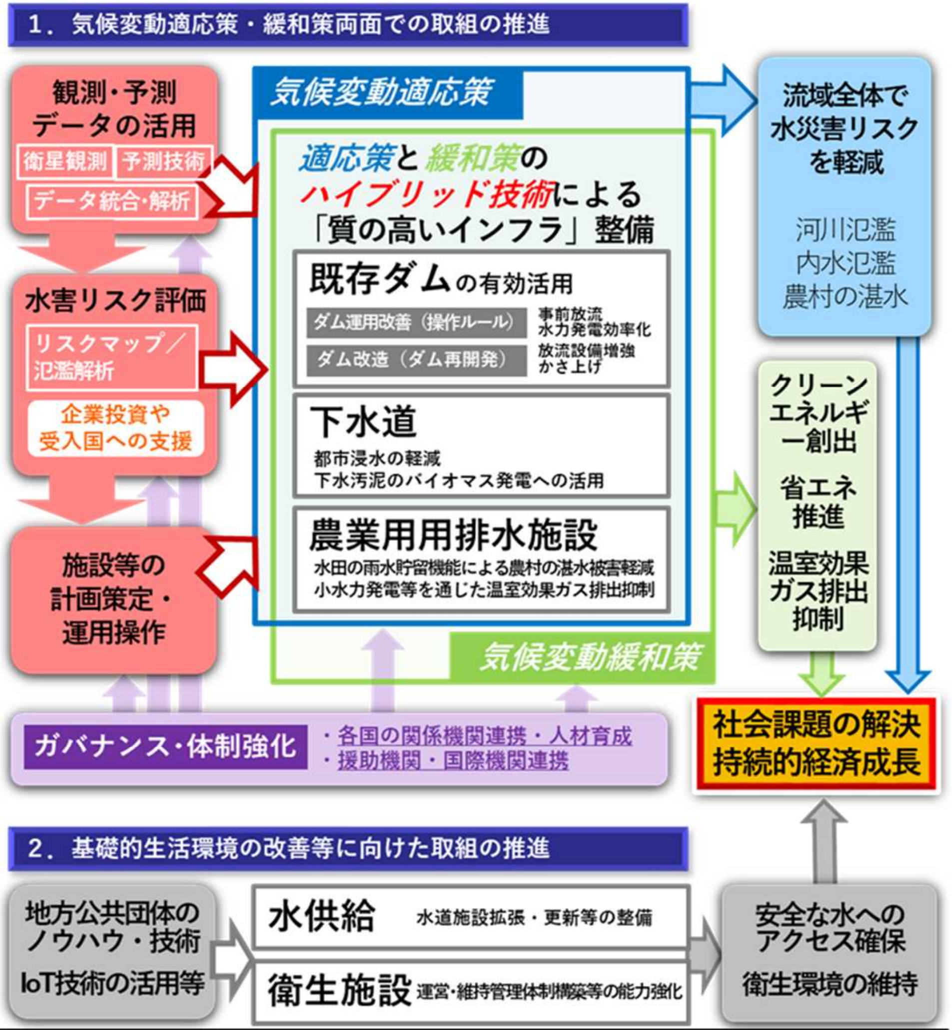
2.基礎的生活環境の改善等に向けた取組の推進

（1）「質の高い水供給」の整備推進

・**IoT技術等の先進技術導入等**による水道施設整備等の推進

（2）「質の高い衛生施設」の整備促進

・下水道や分散型衛生施設等を整備し、**運営能力強化**等を推進



今後５年間で約５，０００億円の支援を実施

参照URL

第9回世界水フォーラム

【天皇陛下のおことば】

〇宮内庁HP：第9回世界水フォーラムにおける天皇陛下おことば
https://www.kunaicho.go.jp/page/okotoba/detail/90#351

第4回アジア・太平洋水サミット

【結果概要】

〇主催者（アジア太平洋水フォーラム）HP：第4回アジア・太平洋水サミット（APWS）開催報告
https://apwf.org/kumamoto-2022-jp/

〇官邸HP：アジア・太平洋水サミット及び各国首脳との会談等
https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202204/23mizusummit.html

〇国土交通省HP：第４回アジア・太平洋水サミットの開催結果
https://www.mlit.go.jp/report/press/water02_hh_000143.html

〇外務省HP：「第4回アジア・太平洋水サミット」の開催（結果概要）
https://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/gic/page24_001873.html

【天皇陛下のおことば・ご講演】

〇宮内庁HP：第4回アジア・太平洋水サミット開会式における天皇陛下おことば
https://www.kunaicho.go.jp/page/okotoba/detail/90#365

〇宮内庁HP：第4回アジア・太平洋水サミットにおける天皇陛下記念講演
https://www.kunaicho.go.jp/page/koen/show/8

【関係文書・分科会】

〇熊本宣言 https://apwf.org/kumamoto-2022-jp/headofsg/

〇議長サマリー https://apwf.org/kumamoto-2022-jp/4apwssummary/

〇熊本水イニシアティブ https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/mizukokudo_mizsei_fr2_000034.html

〇地下水を含む健全な水循環分科会ほか https://apwf.org/kumamoto-2022-jp/thematicsession/